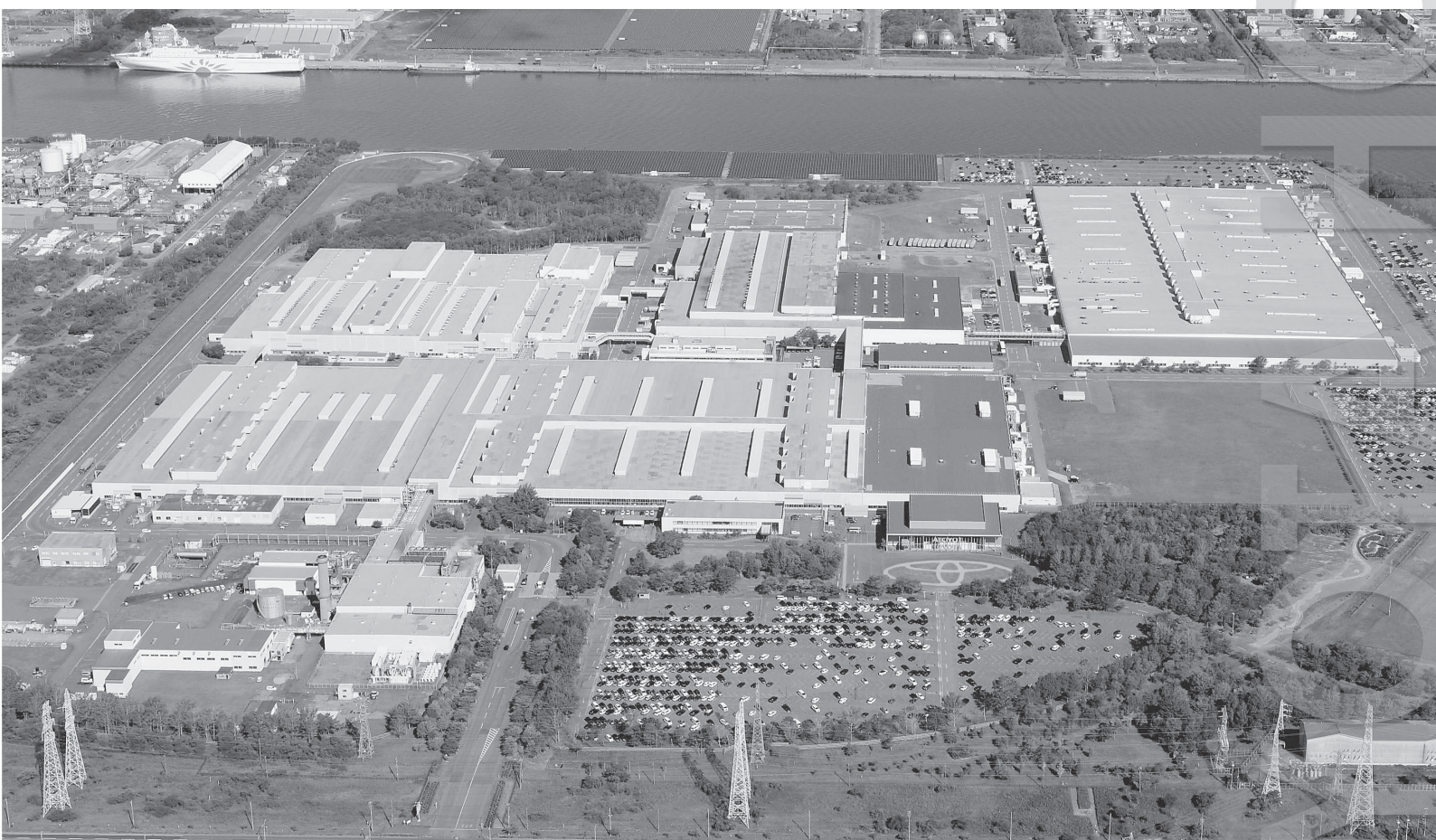


HOKKAIDO

会社概況



トヨタ自動車北海道株式会社

【目次】

基本理念・環境方針	1
会社概要・会社沿革	2
役員・会社組織	3
売上高の推移・従業員の推移・勤務形態	4
製品及び生産量	5
製品出荷先・海外支援	6
調達・工場レイアウト・厚生施設	7
周辺図	8
環境保全活動・社会貢献活動	9
部活動・苫小牧市の紹介	10

【基本理念】

1. 内外の法およびその精神を遵守し、社会から信頼される企業市民をめざすとともに、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する
2. クリーンで安全な製品の提供を使命とし、あらゆる企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組む
3. 新技術の開発に努め、お客様の要望に応えた品質・価格の製品をタイムリーに提供する
4. 労使相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる
5. 開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を実現する

【環境方針】

『地球にやさしい企業』として、一人ひとりが自覚と責任を持ち、環境保全活動に積極的に取り組み、SDGs（持続可能な開発目標）の目標・ターゲット達成に貢献します。

1. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、北海道の豊かな自然との共生と生物の多様性を保つための活動を積極的に推進します。
2. 環境法令や協定、基準の遵守はもとより、地球環境の汚染予防及び継続的な改善を行い、地域のリーディングカンパニーを目指します。
3. 環境影響を最小化するために、目的・目標を定め積極的に取り組みます。
 - ①工場 CO₂ ゼロを目指し、日常改善・技術革新・再生可能エネルギー利用を推進します。
 - ②ゼロエミッションを維持し、循環型社会の形成を推進します。
 - ③生産活動の環境影響を評価し、環境負荷物質を低減します。



【会社概要】

商 号	トヨタ自動車北海道株式会社 (TOYOTA MOTOR HOKKAIDO, INC.)
設 立	1991年 2 月 8 日
資本金	275億円
株 主	トヨタ自動車(株) 100%出資
代表者	取締役社長 北條 康夫
事業内容	自動車部品の製造
生産品目	オートマチックトランスミッション、C V T、 ハイブリッドトランスアクスル、トランスファー、鍛造部品
用地面積	103万㎡ (約31万坪)
建物面積	30.5万㎡ (約9.2万坪)
売上高	1,889億円 (2022年 3 月期)
従業員数	3,567人 (2022年 5 月 1 日現在)

【会社沿革】

1990年	2 月21日	トヨタ自動車(株)、北海道苫小牧市への進出を発表
1991年	2 月 8 日	トヨタ自動車北海道(株)設立
1992年	10月22日	アルミホイールラインオフ
1993年	6 月21日	オートマチックトランスミッション (A541) ラインオフ
	9 月 6 日	竣工式(創立記念日)
1994年	11月 7 日	トランスファーラインオフ
1999年	6 月26日	ISO14001外部認証取得
	7 月 8 日	オートマチックトランスミッション (U340 第 1 ライン) ラインオフ
2001年	3 月	ゼロエミッション達成
2002年	1 月 1 日	天然ガス使用開始
	5 月15日	オートマチックトランスミッション (U340 第 2 ライン) ラインオフ
	9 月 8 日	創業10周年記念式典
2004年	8 月 4 日	勇豊会(取引先協力会)発足
2005年	11月23日	ユニット(トランスミッション・トランスファー)生産累計1,000万台
	12月 8 日	第 4 工場(機械工場)竣工
		オートマチックトランスミッション (U660) ラインオフ
2006年	9 月 1 日	CVT (K310 第 1 ライン) ラインオフ
2007年	5 月21日	TMMWV向けオートマチックトランスミッション部品ラインオフ
2008年	5 月12日	オートマチックトランスミッション (U340 第 3 ライン) ラインオフ
	6 月12日	第 5 工場(鍛造工場)竣工
2010年	7 月23日	アルミホイール生産終了
2011年	2 月17日	ユニット(トランスミッション・トランスファー)生産累計2,000万台
2012年	9 月 4 日	創業20周年記念式典
	10月17日	ハイブリッドトランスアクスル (P510) ラインオフ
	10 月	トヨタ自動車(常熟)部品有限会社に出資
2013年	6 月 4 日	CVT (K310 第 2 ライン) ラインオフ
2016年	2 月19日	CVT (K310 第 3 ライン) ラインオフ
	3 月18日	ユニット(トランスミッション・トランスファー)生産累計3,000万台
2018年	5 月10日	Direct shift-CVT (K120 第 1 ライン) ラインオフ
2019年	10月 7 日	Direct shift-CVT (K120 第 2 ライン) ラインオフ
2019年	12月23日	ハイブリッドトランスアクスル (P910) ラインオフ
2021年	2 月16日	Direct shift-CVT (K120 第 3 ライン) ラインオフ

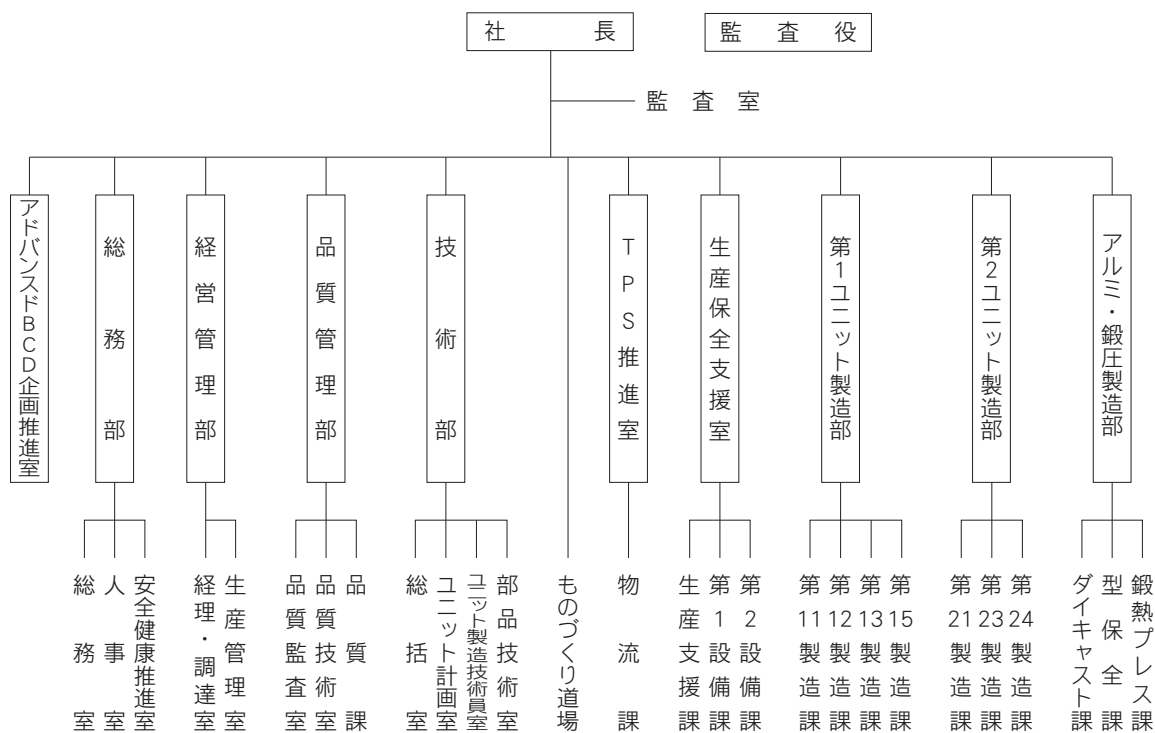
【役員】

(2022年6月10日現在)

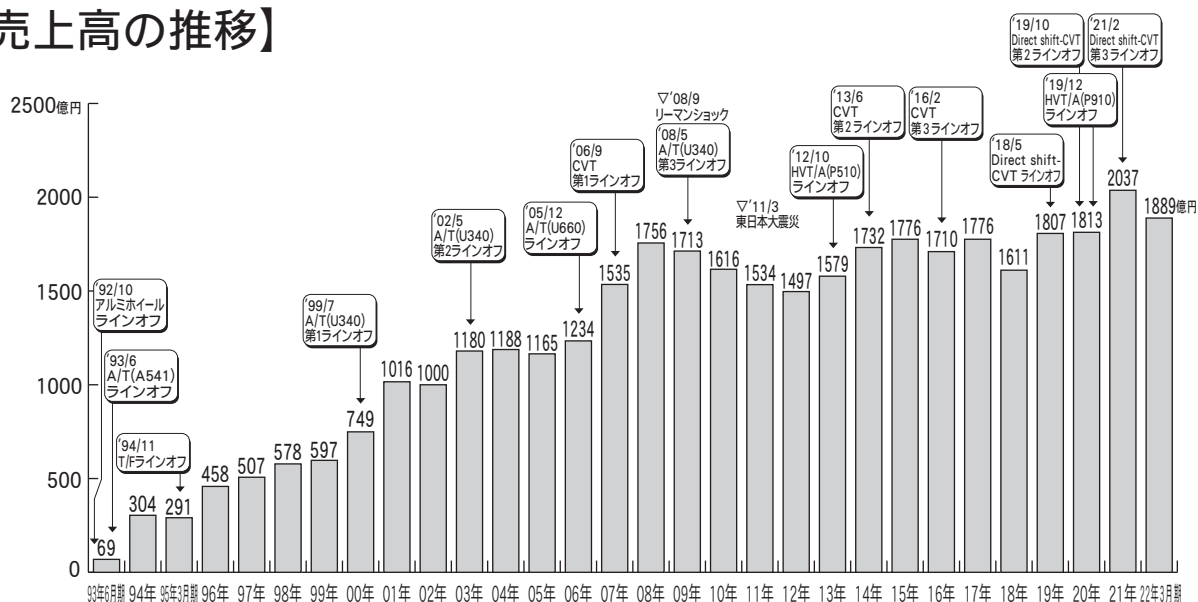
取締役社長	ホウ北	ジョウ條	ヤス康	オ夫
取締役副社長	ナイ内	トウ藤	カズ一	ノリ徳
専務取締役	ヨシ吉	ダ田	ユウ雄	ジ二
常務取締役	イマ今	イ井	ミツ光	アキ明
常務取締役	サ佐	トウ藤	カツ勝	アキ昭
取締役	オ尾	ザキ崎	マサ昌	トシ稔
取締役	モロ諸	ヌキ貫	ヒデ秀	オ雄
取締役	クリ栗	ヤマ山	タケ武	ヒコ彦
常勤監査役	ミヤコ都	ザワ沢	コウ浩	キ喜
監査役	オカ岡	モト本		ケイ徑 (非常勤)

【会社組織】

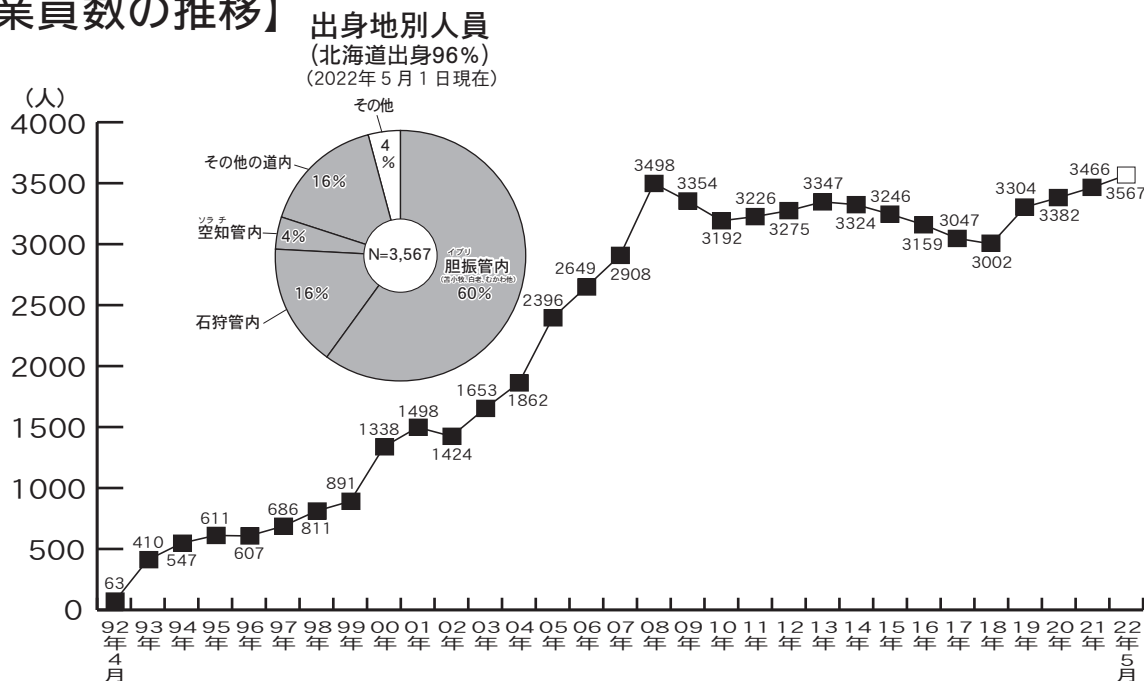
(2022年6月10日現在)



【売上高の推移】



【従業員数の推移】



(2022年 5月1日現在)

	事務・技術	技 能	合 計	平均年齢
男	314	3,023	3,337	39.5
女	71	159	230	30.4
計	385	3,182	3,567	38.9

【勤務形態】

- ◎常昼勤務 8:00～17:00
- ◎2組2交替勤務 7:30～16:20 (1直)
20:30～ 5:20 (2直)
- ◎連続2交替勤務 6:00～14:50
14:50～23:40
- ◎3組3交替勤務 7:20～15:55 (1直)
14:10～22:45 (2直)
22:45～ 7:20 (3直)
- ◎3組2交替勤務 8:00～18:30 (1直)
(4勤3休) 20:30～ 7:00 (2直)

【製品及び生産量】

オートマチックトランスミッション



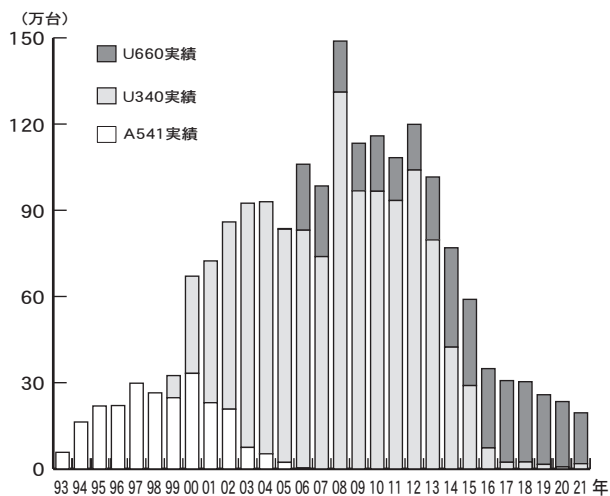
RX

生産能力 (U340) 3,000 基/月

搭載車種：カローラ

生産能力 (U660) 20,000 基/月

搭載車種：RX



CVT



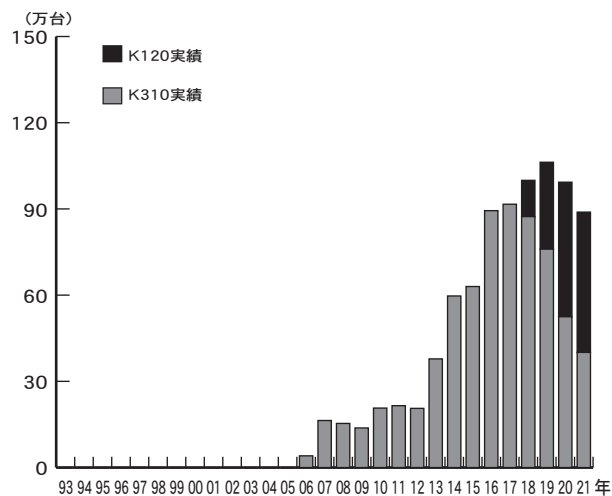
カローラクロス

生産能力 (K310) 36,000 基/月

搭載車種：カローラ、カローラクロス、C-HR、ヴィオス、カローラスポーツほか

生産能力 (K120) 40,000 基/月

搭載車種：カローラクロス、RAV4、ハリアー、カローラ、ノア、ヴォクシー



ハイブリッドトランスアクスル



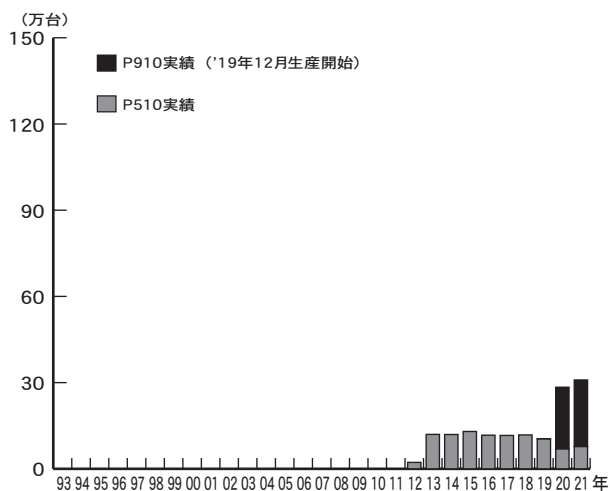
ヤリスクロス

生産能力 (P510) 10,000 基/月

搭載車種：シエンタ、プロボックス、カローラ、JPN TAXI

生産能力 (P910) 20,000 基/月

搭載車種：ヤリスクロス、アクア、ヤリス



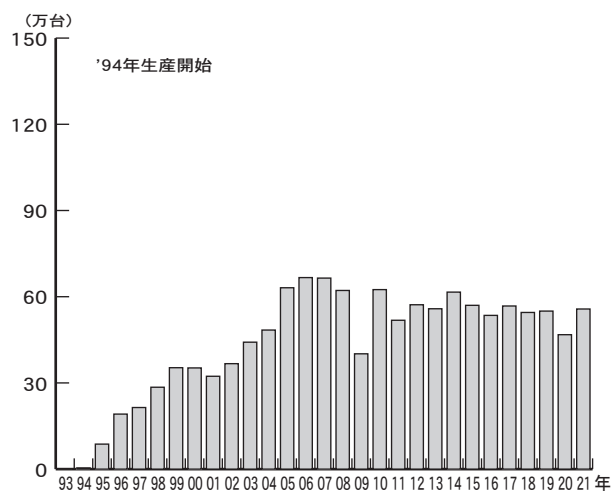
トランスファー



ランドクルーザープラド

生産能力 46,000 基/月

搭載車種：ランドクルーザープラド、ハイラックス、フォーチュナー、FJ クルーザー、4 ランナーほか





HOKKAIDO

【製品出荷先】

(2022年5月1日現在)

海外(国・地域)

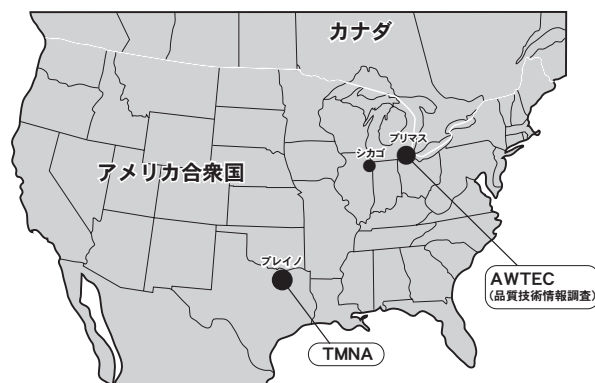


国内

- トランスファー
- オートマチックトランスミッション・CVT
- ハイブリッドトランスアクスル

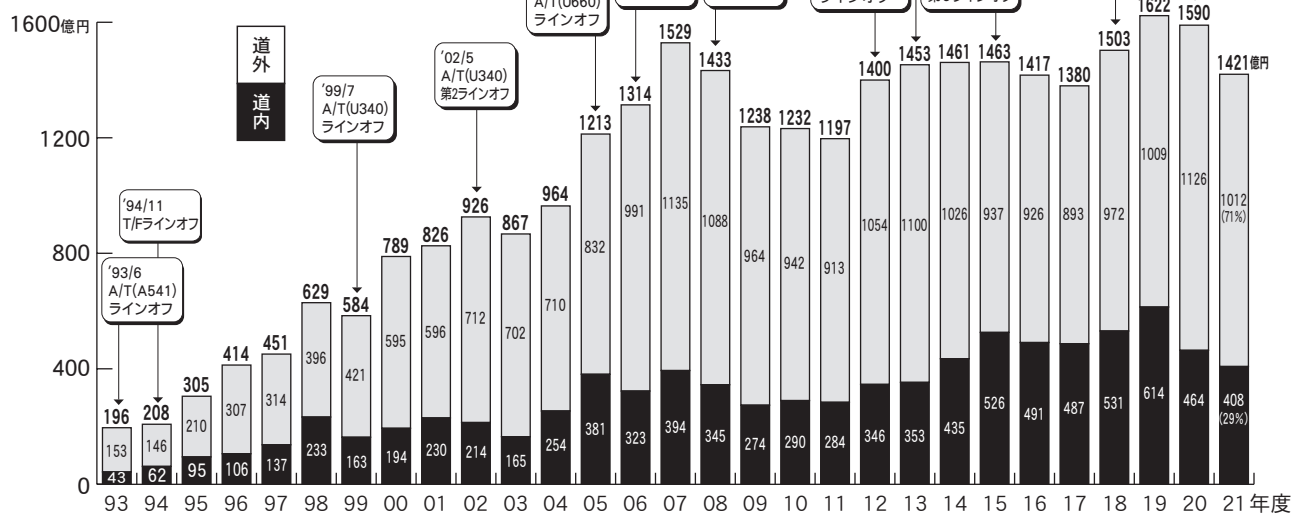
【主な海外出向先】

(2022年5月1日現在)

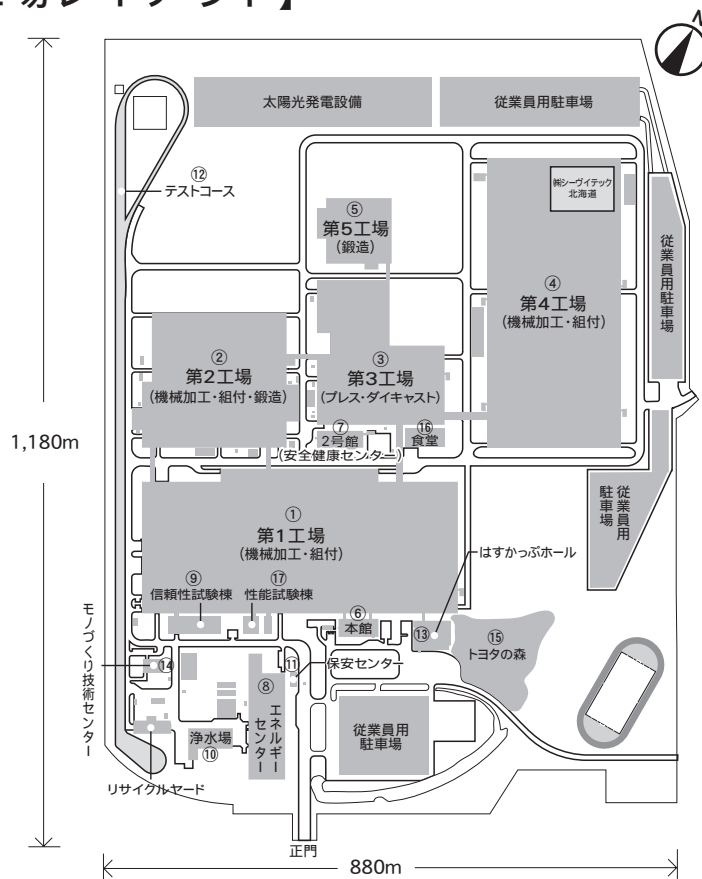


【調達】

自動車部品及び設備・資材



【工場レイアウト】



- ① 第1工場 (機械加工・組付)
- ② 第2工場 (機械加工・組付・鍛造)
- ③ 第3工場 (プレス・ダイキャスト)
- ④ 第4工場 (機械加工・組付)
- ⑤ 第5工場 (鍛造)
- ⑥ 本館
- ⑦ 2号館・安全健康センター
- ⑧ エネルギーセンター
- ⑨ 信頼性試験棟
- ⑩ 浄水場
- ⑪ 保安センター
- ⑫ テストコース
- ⑬ はすかっぱホール
- ⑭ モノづくり技術センター
- ⑮ トヨタの森
- ⑯ 食堂
- ⑰ 性能試験棟

用地面積	103万㎡(約31万坪)	
建物面積	30.5万㎡(約9.2万坪)	
名称	建物面積	生産品目・用途
第1工場	102,000㎡(220m×480m)	オートマチックトランスミッション、CVT、トランスファー、ハイブリッドトランスアクスル
第2工場	45,000㎡(200m×240m)	ハイブリッドトランスアクスル、鍛造
第3工場	34,000㎡(200m×220m)	プレス・ダイキャスト
第4工場	89,000㎡(200m×440m)	オートマチックトランスミッション、CVT
第5工場	11,700㎡(100m×100m)	鍛造

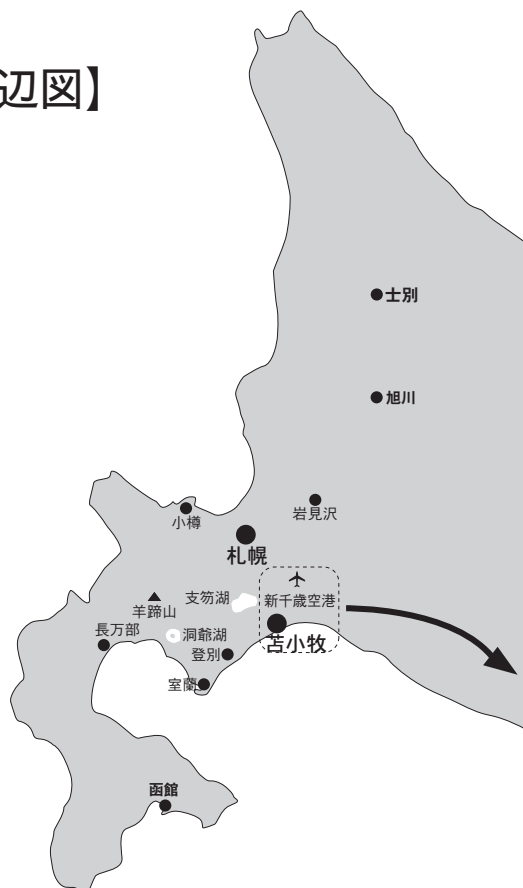
【厚生施設】

施設	内容
独身寮	名称:クレール美園 (美園町) / 全228室
女子寮	名称:フルール船見 (船見町) / 全18室 名称:ソレイユ東開 (東開町) / 全25室
社宅	高丘20戸
運動施設	会社グラウンド (サッカー場・400mトラック) 高丘グラウンド (野球場・テニスコート2面)
多目的施設	はすかっぱホール (多目的ホール、研修室、展示コーナー他)



当社からの主要所要時間

- 陸：JR苫小牧駅／約20分（13km）
- ：JR沼ノ端駅／約8分（6km）
- ：道央自動車道苫小牧東IC／約20分（12km）
- ：札幌市／約60分（60km）
- 空：新千歳空港／約25分（18km）
- 海：フェリーターミナル／約15分（9km）

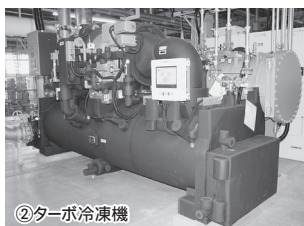


【環境保全活動】

	1992	～	2022年
CO ₂ 削減活動	【省エネ大賞受賞】「経済産業大臣賞」(‘01) ▼天然ガス導入(‘02～)CO₂削減量:3,000t/年 ▼トヨタ北海道の森造成(‘04)写真① ▼雪冷房システム試験導入(‘05) ▼クール&ウォームビズ活動開始(‘05～) 【省エネ大賞受賞】「省エネルギーセンター会長賞」(‘05) ▼コージェネレーションシステム1、2号機稼働(‘06～) ▼雪冷房 人工降雪共同研究(‘08～)(室蘭工業大学) ▼社内植樹祭実施(‘08～)‘09:6,000本 ▼小型貫流ボイラー導入(‘10～) ▼北海道グリーンビズ認定制度(‘10)「優良な取組み部門」 「創意あふれる取組み部門」「先進的な取組み部門」	▼ヒートポンプ導入(‘11～) ▼苫小牧エコオフィス宣言への登録(‘11～) ▼太陽光発電導入(‘12～) ▼消費電力の見える化(‘12～) ▼コージェネレーションシステム3号機稼働(‘13～) 高速高効率加工により 【省エネルギーセンター会長賞】(‘14) ▼第3工場天井照明全数LED化(‘15) 「コンプレッサー運転効率向上と工場用LED照明 開発により「北国の省エネ・新エネ大賞」 優秀賞 2件(‘16)	▼コンプレッサー廃熱回収ターボ冷凍機導入(‘21～)写真② ▼太陽光発電増設(‘21～)写真③パネル出力:2,720kw ▼デマンド調整用蓄電池設備導入(‘21～) ▼第1、2、4、5工場天井照明LED化完了(‘21～) ▼第4工場生産工程用蒸気レス達成(‘22) ▼コージェネレーションシステム1、2号機停止、4号機稼働(‘22～)写真④ ▼ESCO(Energy reduction Support CO-operation) チーム発足(‘22～) トランスミッション工場における低CO₂生産技術の 推進とIoT活用による省エネ活動により 「資源エネルギー庁長官賞(産業部門)」受賞(‘22)
資源循環活動	▼ゼロエミ達成(‘01～) 直接埋立:230→0t ▼苫小牧ゼロエミネットワーク活動開始(‘01～) 近隣8社参加 ▼グリーン調達完了(‘02)	▼黒鉛かす全量リサイクル(‘05～) 「北海道ゼロエミ優秀賞」(‘06) ▼工場廃油の燃料化(‘06～) ▼排水汚泥全量リサイクル達成(‘08) ▼ヘルメット安全靴リサイクル開始(‘09～)	▼工場空調用フィルター洗浄再利用活動開始(‘10～) ▼油水分離による廃油低減(‘11～) ▼スクリーンプレス機導入による汚泥量低減(‘13～) ▼廃液濃縮装置1・2号機導入による廃棄物低減(‘17～) ▼廃液濃縮装置3号機増設による廃棄物低減(‘19～)
環境リスク低減活動	▼ISO14001認証取得(‘99～) ▼ホイール ノンクロム完了(‘04) ▼非ヒドラジン系薬品へ切替え完了(‘06)	▼スプレー缶塗料、床塗料水性化(‘10～) ▼敷地内観測井戸設置による地下水水質管理開始(‘10～) ▼クラント材のPRTRフリー化(‘11～)	▼アルミ溶湯処理剤のPRTRフリー化(‘12～) ▼鍛造離型剤のほう素レス化(‘21～)



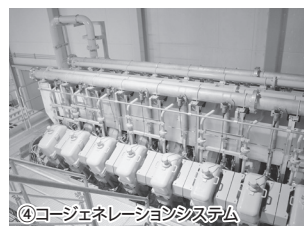
①トヨタの森



②ターボ冷凍機



③太陽光発電



④コージェネレーションシステム

【社会貢献活動】

交通安全

わくわく交通安全くらぶ(‘14～)
* 幼稚園児向けの交通安全教室



人材育成

なぜなにレクチャー(‘06～)
* トヨタ自動車、トヨタ技術会、苫小牧
高専の協力で開催している工作教室



トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン中学生招待、市内小学校図書寄贈、
トヨタ原体験プログラム、トヨタシグナス支援 等

国際アイスホッケー中学生交流会(‘98～)
* TMMC(トヨタ・モーター・マニュファクチャリング・
カナダ)と共催するカナダと苫小牧の交流会



地域活性化

とまこまい港まつり参加(‘13～)
* 地域の恒例祭へ参加



絵画展(‘02～周年記念として開催)
* 世界的な名画を無料で公開



工場見学受け入れ
* 市内外のお客様を受け入れ



【部活動】

部	活動内容	主な活動実績
サッカー部	北海道サッカーリーグ道南ブロックリーグ所属	第55回全道社会人サッカー選手権大会苫小牧地区予選 優勝 第37回知事杯全道サッカー選手権大会苫小牧地区予選 準優勝
野球部	軟式野球チーム(A級クラス)	天皇賜杯第75回全日本軟式野球北海道大会苫小牧支部予選 準優勝 第6回支部長杯争奪A級軟式野球選手権 優勝
駅伝・陸上長距離部	陸上長距離 道内の主なマラソン・駅伝大会に出場	第36回とまこまいマラソン大会 5kmの部 優勝 2019ノーザンホースパーク駅伝 優勝 第7回AIR-G'真駒内リレーマラソン 準優勝 第39回千歳JAL国際マラソン ハーフの部 準優勝
アイスホッケー部	苫小牧アイスホッケー連盟C級(Aグループ)所属	第44回苫小牧アイスホッケー連盟杯争奪C級アイスホッケー大会 3位 第39回苫小牧民報社杯争奪C級アイスホッケー大会 準優勝



サッカー部



野球部



駅伝・陸上長距離部



アイスホッケー部

【苫小牧市の紹介】

変遷

大正7年(1918)町制施行
昭和23年(1948)市制施行

語源

以前、苫小牧川が流れる一帯を、当時の河川名であったマコマイ(アイヌ語で「山奥に入っていく川」)と呼んでいた。沼のあった旧樽前山神社付近一帯はアイヌ語で沼の意味がある「ト」の字をつけて「ト・マコマイ」と呼ばれるようになり、今日の苫小牧になった。

市域

東西39.9km 南北23.6km 面積561.58km²

人口

169,028人(男性:82,842人 女性:86,186人)〔2022年4月末現在〕

気象

最高気温33.8℃(2021年8月平均は20.9℃) 最低気温-17.4℃(2022年1月平均は-4.0℃)
降水総量 1,303mm 降雪量72cm〔2021年総計〕

シンボル



木「ナナカマド」



鳥「ハクチョウ」



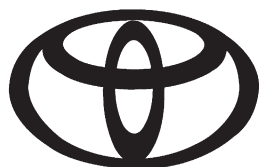
草の花「ハナシロウブ」



木の花「ハスカップ」



貝「ホッキ」



HOKKAIDO

トヨタ自動車北海道株式会社

TOYOTA MOTOR HOKKAIDO, INC.

〒059-1393

苫小牧市字勇払145番1

TEL 0144-57-2121 (代表)

FAX 0144-52-3184

<http://www.tmh.co.jp/>

発行年月：2022年6月